

Miki Yumihari & Anthony Hewitt

2台ベーゼンドルファーによる華麗なる饗宴

2017年4月16日(日)

1部 13:00開演(12:30開場)

2部 16:30開演(16:00開場)

※完全入れ替え制

会費:4,500円(税込)

定員:40名様(1部、2部ともに)

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます

〈Program〉 W.A.Mozart: Larghetto and Allegro for 2 Pianos in E flat Major, K.deest
W.A. モーツァルト:2台のピアノのためのラルゲットとアレグロ 変ホ長調 (未完)

C. Saint-Saëns: Dance macabre Op.40 for 2 Pianos

C. サン=サーンス:「死の舞踏」作品40

M.Ravel: 'La Valse' for 2 Pianos

M.ラヴェル:「ラ・ヴァルス」 他

※プログラムは都合により変更になる可能性がございます。



© Sonja Tobias

弓張 美季(Piano) Miki YUMIHARI

神戸に生まれる。幼少時にドイツ・フランクフルトに移住。ドイツで開催されたスタインウェイ・コンクールで第1位獲得。イギリス・メニューイン音楽院を経てニューヨークに渡り、ジュリアード音楽院、マネス音楽院修士課程および同プロフェッショナル・コース修了。1998年カーネギーホールにてリサイタル開催。ロシアの国立エルミタージュ劇場にて日本人ピアニストとして初めてエルミタージュ室内管弦楽団と共演。2004年活動拠点をウィーンに移し、ヨーロッパ各地で演奏活動を行う。2013年3月、佐渡裕&スーパーキッズ・オーケストラの特別演奏会に出演。同年9月に、クリスティアン・アルミンク指揮新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。2014年3月、関西フィルハーモニー、飯守泰次郎と共演。2015年6月にはオーストリアの「リスト音楽祭」に出演。現在ベルリンを拠点に活動中。



© Patrick Allen

Anthony Hewitt(Piano)

「たくいまれなる才能を授かったアーティスト」グラモフォン誌

イギリスで最も才能のあるピアニストとして名を成しており、ワシントンDCでの栄誉あるウィリアム・カペル国際ピアノコンクール優勝以来20年に渡り、アメリカのナショナル交響楽団、イギリス室内管弦楽団、ロイヤルフィルハーモニー管弦楽団との共演を含む多彩な活動を展開。ロンドンのロイヤル・フェスティバルホール、バーミンガムのシンフォニーホールにて演奏。ウィグモアホールでは1998年のデビュー以来8回のリサイタルを開催。室内楽メンバーとしてロンドンのキングス・プレイス及びカドガンホール、マンチェスターのブリッジウォーターホール、エディンバラのウシャーホールに出演。彼の一番の「偉業」ともいべき事柄は2012年にランズ・エンドからジョン・オ・グローツまで(イギリス縦断)1900キロを自転車移動して各地で毎夜コンサートを開催、13,000ポンドの寄付金を集めたこと。音楽界からは非常に多くの尊敬と驚きを集めた。

会場・お申し込み先

ベーゼンドルファー東京 03-6681-5189

※お電話にてお申し込みください(10:00-18:00)

※会費は当日クレジットカードにてお支払いください

Bösendorfer

〒164-8721 東京都中野区本町1-32-2ハーモニータワー1F TEL:03-6681-5189

地下鉄「中野坂上」駅1番出口そば「中野坂上地下通路」直結 徒歩3分

営業時間:10:00-18:00 定休日:水曜日 <http://boesendorfer.jp/>

